

地震への備え

▶ 地震対策10カ条

いつ発生するか予想できない地震。日ごろから地震の危険に対する意識を持ち、被害を最小限におさえましょう。

1 まずは身の安全を!

ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。
家具の転倒や落下物には十分な対策を。



2 すばやく火の始末

あわてず、冷静に行動。
火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保を

振動でドアが開かなくなることも。
すばやく戸を開けて避難口の確保を。



4 火が出たらすぐ消火

万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。
あわてず消火を。

5 あわてて外に飛び出さない

飛び出しはケガの元。冷静な判断を。

6 狹い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れが。すばやく避難を。

7 協力し合って応急救護

地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制を。

8 山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を把握して、二次災害防止の心がけを。



9 避難は徒歩で

マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。
ルールを守る心のゆとりを。

10 正しい情報を聞く

事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

緊急地震速報

!
緊急地震速報で地震の発生を知った場合、周囲の状況に応じてあわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

▶ 震度別の想定被害

震度 想定される被害

- | | |
|----|--|
| 0 | 人は揺れを感じない。 |
| 1 | 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。 |
| 2 | 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。寝ている人の一部が目を覚ます。電灯などのつり下げ物がわざかに揺れる。 |
| 3 | 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、恐怖感を覚える人もいる。棚にある食器類が音を立てることがある。 |
| 4 | かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 |
| 5弱 | 多くの人が身の安全を図ろうとする。すわりの悪い置物の多くが倒れ、窓ガラスが割れて落ちることがある。 |
| 5強 | 非常に恐怖を感じ、タンスなど重い家具が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。 |
| 6弱 | かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下し、立っていることが困難になる。地割れや山崩れなどが発生することがある。 |
| 6強 | 立っていることができず、はなないと動くことができない。耐震性の低い建物では倒壊するものがあり、高い建物でも、壁や柱が破壊するもののがかなりある。 |
| 7 | 揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。耐久性の高い建物でも傾いたり、大きく破壊するものがある。大きな地割れ、地滑りや山崩れが発生し、地形が変わることもある。 |

▶ もしも、こんな時に地震が起きたら…

もしも、子ども（乳幼児）が別の部屋にいたら…

- すぐに子どものところに駆けつけましょう。
- 子どもを抱き上げ、テーブルの下などに身をかくしましょう。

もしも、食事の支度中だったら…

- ガスの元栓を閉めるなど、火を消しましょう。
- やけどをしないように注意しながら、安全な場所で身を守りましょう。

もしも、入浴中だったら…

- 屋内の安全な場所に避難しましょう。
- 窓や扉を開け、出口を確保しましょう。
- 裸でいる場合は危険なので、鏡などが割れた破片によるケガをしないように注意しましょう。

もしも、睡眠中だったら…

- 枕や布団などで頭を保護します。揺れが収まったら、声をかけ合って家族の無事を確認しましょう。

!
どんな時でも、あわてず落ち着いて行動することが大切です。